



# どうぞ よいお年をお迎えください

2学期も、今日で終わり。今学期も保護者や地域の皆様方の温かいご支援・ご協力により、充実した教育活動ができましたことに心から感謝申し上げます。

また、子ども達の安全・安心のために、スクールヘルパーとして校内の見守り、登下校の交通指導、夜間の安全パトロールなど、様々な面で支えていただきました地域の皆様方にも深く御礼申し上げます。お蔭様で、この1年無事に過ごすことができました。誠にありがとうございました。



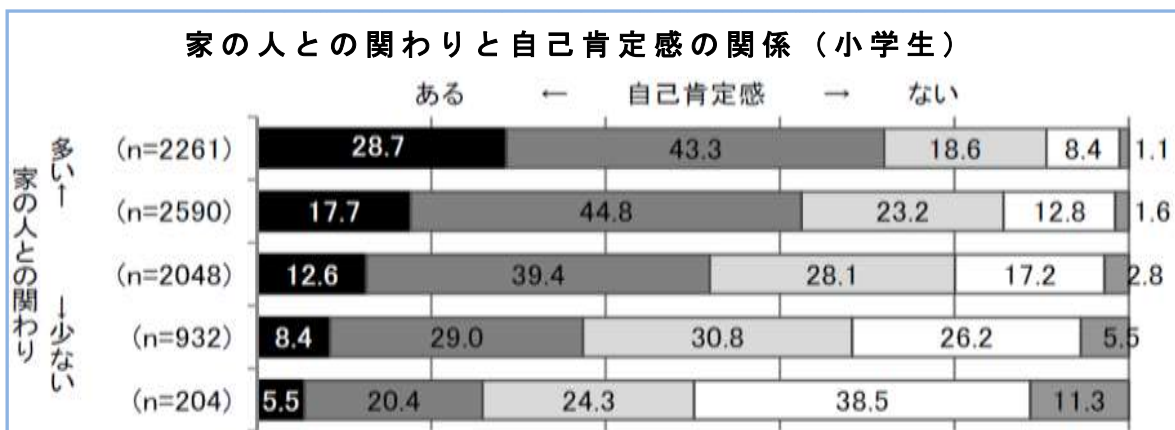
今日の終業式の中で、子ども達に向け「2学期の生活や学習を振り返り、自分の成長を確かめるとともに、新年の『めあて（抱負）』を決めること」の大切さについて話しました。ご家庭でも、お子様が今学期がんばったことや新年に向けての抱負をお子様と一緒に話す場をもっていただき、やる気に満ちたスタートが切れるようにしてほしいと思います。

皆様、どうか健康には十分気を付けられて、よいお年をお迎えください。皆様にとって来年も幸多き年になりますようにお祈り申し上げます。

## ふれあいを大切に・・・



先日の学校通信学力特集号でもお知らせしましたが、本校の課題の一つとして自己肯定感を高めることが挙げられます。下のグラフは、『『青少年の体験活動等に関する実態調査』（平成24年度調査）報告書』（国立青少年教育振興機構）に掲載された「家の人にほめられること」・「家の人にその日の出来事などを話すこと」・「家の人に悩みや相談を聞いてもらうこと」など、子どもから見た家の人との関わりの程度と、「今の自分が好きだ」・「自分には、自分らしさがある」など自己肯定感の度合いとのとの関係を表したものです。家の人との関わりが多い子どもほど、自己肯定感が高い傾向にあります。自己肯定感が高いと、様々な物事に取り組む意欲も高いと言われています。



年末・年始は特に、お子様との関わる機会が多くなることでしょう。お子様のよいところ・頑張っているところをしっかりと誉めることで、お子様自身が自分のよさに気付いたり認めたりし、それが自信になり、自分を好きになる。そのような経験を積み重ねていってほしいと思います。学校でも、これまで以上に一人一人がかけがえのなさを実感できる“要場所（いばしょ）”づくりに努めてまいります。

## 子どもが主体となって・・・

2学期は、たくさんの行事や教科等の学習における様々な体験活動に加え、いろいろな委員会が主催するイベントを実施しました。それらの取組を通して、学校全体や学年、学級の集団としての力や、一人一人の力の伸びやよさをたくさん見ることができました。

特に、子どもたちが自分たちで考えて企画・計画し、参加者を募り、工夫して実行する場面や活動は、子ども達にとっての“要場所（いばしょ）”の一つになるとともに、子どもの主体的な行動や思考を促し、その結果として、学力向上の基盤にも繋がると考えています。

### 地域清掃活動



6年生は、清見公園で清掃活動をがんばりました！他の学年は校内の清掃を行いました。

### 5年保育士体験



5年生が、校区の2つの保育園で保育士体験をさせていただきました。



ようこそ！  
ワンダーランドへ

1年生が、生活科の学習で、木の実などを使っておもちゃを作り、保育園児を招待して一緒に遊びました。



### 文化庁主催わんぱく寄席



落語家の方から事前に指導していただき、6年生は、お囃子や小唄などにも挑戦しました。本公演では、見事に練習の成果を発揮しました。

### 3年国際交流



JICA九州の研修生10か国から11名が来られて3年生と交流をしました。

### お手伝いについて

冬休みは年末年始があり、普段以上に家族や家庭生活への関わりが増す時期だと思います。将来、生活者として自立していくための基礎を培うよい機会です。発達年齢に応じて、是非、お家の手伝いを頑張らせてください。そのような体験は、家族の一員としての自覚や家庭生活を大切にする心情へと繋がるものと思います。

